

公益財団法人秋田県体育協会 平成25年度事業計画

本会は、県内におけるスポーツの統一組織として、「スポーツ立県あきた」宣言の趣旨を踏まえ、競技力のレベルアップによるスポーツ王国秋田の復活と生涯を通じた豊かなスポーツライフづくりを目指して、加盟競技団体、市町村体育協会及び関係機関・団体との連携を図りながら、次の各事業を効果的に実施する。

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1 競技スポーツ事業 | 8,720千円 |
| (1) 第64回県民体育大会の開催(41競技) | 5,261千円 |

本会が主催する全県的な総合スポーツ大会(競技会)であり、大会運営経費の助成をし、大会運営は加盟競技団体が行っている。東北総合体育大会や国民体育大会の予選会とし位置付けられている。

- | | |
|-------------------------|----------|
| 2 スポーツの競技力向上及び普及等に関する事業 | 86,179千円 |
| (1) 競技力向上対策事業 | 56,031千円 |

① 国体・東北ブロック大会派遣

- ア 第40回東北総合体育大会(山形県)[平成25年8月23日~25日]
- イ 第68回国民体育大会本大会(東京都)[平成25年9月28日~10月8日]
- ウ 第69回国民体育大会スケート・アイスホッケー競技会(栃木県)
[スケート 平成26年1月28日~2月2日]
- エ 第69回国民体育大会スキー競技会(山形県)[スキー 平成26年2月21~24日]

② 秋田県高等学校強化拠点校制度の推進

全国大会においてトップレベルの活躍が期待できる学校を強化拠点校として指定し、選手・チームの育成を目的とする事業で、監督研修会をはじめとする各種講習会・講演会を通して、様々な分野から知識を得ながら、競技力の向上(全国ベスト4以上)を目指す。(拠点校数15校、16競技)。

- ア 高等学校強化拠点校監督研修会
- イ 高等学校強化拠点校監督ヒアリング
- ウ スポーツ立県あきた推進キャンペーン講演会(③と合同)

③ 秋田県中学生強化選手事業の推進

将来、有望な中学生選手を指定し、全国規模の大会で上位入賞ができるよう、競技力の向上を図るとともに、中学校から高等学校まで一貫した指導体制のもと選手強化及び健全な人格形成を目指す。

- ア 中学生強化選手資質向上研修(①宿泊研修、②フィジカルトレーニング)
- イ 中学校等に部活動のない競技の地域スポーツクラブ化の推進

④社会人選手・指導者の確保

経済状況の悪化に伴い、企業スポーツの維持や優秀な人材の県内就職環境などが厳しい状況にあるが、大学を卒業するなどして秋田に帰ってくる選手・指導者の受け皿の確保を目指す(県、県教委、各自治体、企業等)。チーム全員を採用してもらうようなものではなく、一人ずつ幅広い業種で採用してもらい、競技を継続できる環境を提案・推進する。

⑤スポーツ医科学の活用

- ・スポーツ医・科学委員会のスポーツドクター等によるメディカル及びフィジカル等の医科学的情報の提供を行い、競技力の向上を図る。
- ・アスリートを対象にドーピング防止教育・啓発のための講習会・研修会を実施する。

ア 日体協ドーピング防止活動推進事業

イ ドーピング防止講習会

(2) 普及啓発・広報事業

4, 920千円

- ① 機関誌「スポーツ秋田」 (3回 各2,000部)
- ② ホームページによる情報発信 (随時)
- ③ 「スポーツ立県あきた」普及啓発
 - ア マスコミ等による啓発
 - イ スポーツ立県推進講演会

(3) スポーツ普及推進事業

2, 535千円

加盟団体(競技団体、地域団体、学校体育団体)が実施するスポーツ事業を支援するために助成等を行い、県民がスポーツに親しむ機会を増やし、スポーツの普及を図る。

(4) スポーツ表彰・顕彰事業

2, 068千円

本県の体育・スポーツの振興に寄与し、その功績が顕著な者に対し、その栄誉を顕彰する。

- ① 秋田県スポーツ賞表彰 [平成26年2月]
- ② 人見スポーツ賞表彰 [平成26年3月]
- ③ 畠沢国体賞表彰 [平成26年3月]
- ④ 辻ジュニアスポーツ大賞表彰 [平成26年3月]

(5) 人見スポーツ傷害基金事業

600千円

本会の加盟団体が主催するスポーツ行事に参加し傷害を受け、あるいは死亡した者に弔慰金を給付するほか、スポーツ障害者に対するカウンセリングや傷害防止対策事業にも給付を行う。

- ① 傷害防止対策事業
- ② 死亡弔慰金の給付

③ スポーツ障害者に対するカウンセリング

(6) 共同主催及び後援事業

県民の体育・スポーツの技術向上又は普及・振興に寄与すると認められる競技会、研修会、講習会等の各種事業に対して、団体等と共同主催あるいは後援をする。

3 生涯スポーツ振興事業

42,681千円

(1) 総合型地域スポーツクラブ育成事業

1,335千円

① 総合型新規クラブの普及・啓発

総合型クラブの新規設立に向けて未育成市町村（旧市町村単位）や中学校区における設立意向調査や現地ヒアリングなどを行う。 ・新規3、継続4（設置済62）

② 秋田県総合型クラブ連絡協議会事業

総合型クラブの定着・発展のため、設立済、創設準備中の総合型クラブ関係者を対象にクラブ運営に関する情報交換や協議、総合型クラブ間の交流事業を行う。

ア 秋田県総合型クラブ連絡協議会運営委員会の開催

[①平成25年4月17日 ②平成25年8月30日 ③平成26年2月17日]

イ 秋田県総合型クラブサミットの開催 [平成25年6月14日]

ウ 秋田県総合型クラブ地区交流会の開催

[県北：平成25年10月13日 中央：平成25年10月20日 県南：平成25年10月26日]

エ 秋田県総合型クラブ全県交流大会の開催 [平成25年11月16日]

(2) スポーツ指導者養成事業

679千円

① 指導者養成講習会

指導対象に合わせて指導にあたる指導員及び上級指導員の養成講習会を実施する。
(公益財団法人日本体育協会からの委託事業)

② 指導者研修会

指導者資格の更新のための研修会を実施する。(公益財団法人日本体育協会からの委託事業)

(3) スポーツ少年団交流大会事業

22,149千円

①-ア 競技別交流大会（平成25年6月～26年3月、9競技）

スポーツ少年団の競技別交流大会を通してフェアプレー精神の涵養と友情を培い、仲間意識と連帯を高め、地域における活動の活性化を図る。

イ 全県交流大会（平成25年8月2日～4日、田沢湖スポーツセンター）

野外活動を中心としたスポーツ活動を行うほか、リーダーとしての自覚やその役割等について学習するとともに諸活動を通じて「健康・規律・奉仕・友情・協力」等を体験させる全県交流大会を開催する。

② リーダー養成（随時開催）

スポーツ少年団の指導者及びリーダーは、安全で魅力ある単位団活動を推進する上で重要な役割を担っている。単にスポーツ実技指導ができるにとどまらず、人格や識見、豊富な知識や能力が求められることから、資質と能力の向上を図るためのリーダー養成事業を実施する。

③ 青少年海外交流事業

海外の青少年及び指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めるとともに、両国の青少年スポーツの発展に寄与する。

ア スポーツ少年団日独同時交流事業

[派遣：平成25年8月1日～18日 受入：平成25年7月26日～8月7日]

イ 日韓青少年スポーツ交流事業（夏季）

[派遣：平成25年8月] ・バスケットボール ・卓球 ・バトミントン

④ スポーツ少年団モデル育成事業（鹿角市、にかほ市、湯沢市）

県内の市町村スポーツ少年団に共通的な事業のモデル実施方式を確立させることを目的に、各市町村指定スポーツ少年団において具体的な企画・立案を行い、事業を実施する。

(4) スポーツ少年団指導者育成事業

7,336千円

① 認定員養成講習会（平成25年5～12月）

市町村においてスポーツ少年団の育成・指導にあたる「スポーツ少年団認定員」養成講習会を県内7地区で実施する。

② 認定員等再研修会（県北、中央、県南）

指導者の相互研修、情報交換を通して指導者の資質向上と団活動、指導活動のより一層の充実を図るため、県内3地区で年に3～4回開催する。

③ 育成母集団研修会（県北、中央、県南）

地域行事への参加や地域住民を含めたスポーツ交流会や親子スポーツ大会などのプログラムの作成、提供等を図るため、そのための研修会を年3～4回開催する。

④ スポーツ少年団顕彰事業（平成25年4月）

本県のスポーツ少年団の育成・指導に寄与し、その功績が顕著な者に対し、その栄誉を顕彰する。

⑤ スポーツ少年団広報普及事業

- ア 広報誌「スポーツ少年秋田」 (年2回 各2,800部)
イ「スポーツ少年団の現状」 (年1回 1,200部)

4 障害者スポーツ振興事業

※予算は、生涯スポーツ振興事業に含まれる

- (1) 障害者スポーツ大会への協力
(2) 障害者スポーツ関係団体との連携強化

5 創立記念事業

① 創立90周年記念事業 (県体育協会)

4,159千円

- ア 記念式典 11月27日(水)(予定)
記念表彰式
イ 記念誌の発行 平成26年3月刊行(予定)

② 創設50周年記念事業 (県スポーツ少年団)

6,000千円

- ア 記念式典 11月9日(土)
講演・表彰式
イ 記念誌の発行 平成25年11月刊行
ウ スポーツ少年大会 8月2日~4日【再掲】
エ 各競技交流大会に創設50周年記念冠を付けて実施【再掲】

6 財政基盤の確立(歳入)

- (1) 賛助会員の募集 1,200千円
(2) 寄附金の募集 7,000千円
(3) スポーツ活動支援事業
① 自動販売機事業 9,092千円
② スパッキーグッズ販売事業 500千円